

2021

臨床研修(初期・専門)のご案内

Information on clinical training 2021



KYORIN

 杏林大学医学部附属病院

<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

真・善・美の探究

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL



杏林大学医学部附属病院 診療センター・診療科

高度救命救急センター	脳神経内科	泌尿器科
臓器・組織移植センター	感染症科	眼科
熱傷センター	高齢診療科	耳鼻咽喉科
総合周産期母子医療センター	精神神経科	産婦人科
腎・透析センター	小児科	放射線科
がんセンター	上部消化管外科	放射線治療科
脳卒中センター	下部消化管外科	麻酔科
造血細胞治療センター	肝胆脾外科	腫瘍科
人間ドック	呼吸器・甲状腺外科	リハビリテーション科
	乳腺外科	救急総合診療科
呼吸器内科	小児外科	
循環器内科	脳神経外科	病理診断科
消化器内科	心臓血管外科	臨床検査部
糖尿病・内分泌・代謝内科	整形外科	
血液内科	皮膚科	
腎臓・リウマチ膠原病内科	形成外科・美容外科	

許可病床数	1,153床	外来患者数	1,878人 (1日平均・救急含む)
入院患者数	714人 (1日平均)	救急 外来患者数	56人 (1日平均)

ご挨拶



働きやすい環境で 研修しませんか

病院長
市村 正一

当院は、東京都の人口の約3分の1を占める多摩地域唯一の大学医学部附属病院の本院です。周辺には井の頭公園や神代植物公園など昔の武蔵野の面影を残す緑豊かな名所が数多く残っているなど、働く環境にも恵まれております。当院は都内に4つしかない高度救命救急センターはじめ、総合周産期母子医療センター、脳卒中センターなどの専門性が高い救急医療から、1、2次救急まで24時間の救急体制をとっております。一方で、難治性の慢性疾患にも各診療科の優秀なスタッフが診療しております。このため、当院の研修プログラムにより、救急医療からcommon disease、さらには希少な疾患まで幅広く研修することができます。また、医師の働き方改革にも十分配慮したプログラムにもなっております。昨年から大きな社会問題になっている新型コロナウイルス感染症にも系統的な対策を講じております。当院の理念は「あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供します」ですが、医師教育のモットーは「良医を育てる」です。病院としても初期研修医の皆さんが充実した研修ができるように応援いたします。



初期研修も専門研修も 杏林大学病院で

総合研修センター長
要 伸也

医学生、研修医の皆さんこんにちは。私からは、当院の教育・研修体制について簡単に紹介させていただきます。当院は高度機能を持つ大学病院でありながら地域の中核施設としての役割も果たしており、極めて幅広い疾患を診ることができます。強調したいのは、病院全体が、各領域の専門家集団として、一丸となって臨床に取り組むとともに、教育熱心な気風に満ち溢れていることです。各科の指導医・上級医は多くが「研修指導医のための講習会」を受講し、効果的な指導法を習得済みです。また、研修医室、研修医講義室、臨床シミュレーションラボラトリー、施設外からもアクセスできる電子図書館、「UpToDate」などのデータベースなど、設備面でも充実しています。感染対策を含めて安全面への配慮も万全ですので、安心して臨床能力を伸ばすことができます。また、子育てで医師のキャリア形成を支援する制度があり、状況に応じた働き方を選択できるのも強みです。このように、充実した応援体制が整っており、すべての皆さんに適した初期研修、専門研修が行えることを確信します。見学も随時受け付けていますので、連絡をお待ちしています（連絡先は裏表紙参照）。

CONTENTS

● ご挨拶	02
● 病院概要	02
● 初期臨床研修	03
● 研修環境	05
● 病院・キャンパスと周辺のご案内	07
● 専門研修	09
● アクセス	裏表紙

熱心な指導により、医師としての基本的な能力(知・技・心)の習得を支援します

Initial clinical training

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

初期臨床研修の理念と目標

杏林大学医学部附属病院の初期臨床研修は、将来選択する専門領域にかかわらず、その土台となる以下の基本的臨床能力の習得を目標とします。

- 1 医師にふさわしい責任感・倫理観を身につける。
- 2 患者の立場・気持ちを深く理解し、思いやることができる。
- 3 頻度の高い疾患・病態に関する適切な知識を有し、それを個々の患者に応用できる。
- 4 患者の病状をよく把握し、適切な検査・治療を計画できる。
- 5 患者、家族に対して検査・治療の説明を適切に行い、同意を得ることができる。
- 6 医療スタッフとコミュニケーションをよく取り、よい人間関係を築く。
- 7 ルールを遵守し安全な医療を実践する。
- 8 適切な基本的診察・検査・治療技能を身につける。



この目標の達成のため、次のような研修を提供します。

- 1 将来進みたい領域に合わせて2種類のプログラムを用意しました。
- 2 一次から三次まで幅広い救急研修ができます。
- 3 8週間の麻酔科研修により、気管挿管などの手技、呼吸管理や体液管理などがマスターできます。
- 4 地域医師会・僻地の病院との連携により、有意義な地域医療研修が行えます。
- 5 症例数が豊富でハイレベルな専門診療科において高い診療能力を身につけることができます。
- 6 侵襲的な手技を安心して繰り返し練習できるクリニカル・シミュレーション・ラボを整備しました。
- 7 常勤医の約3分の2は、指導能力向上のための講習(指導医養成ワークショップ)を受講しています。受講者の割合は毎年増加しています。
- 8 看護部、検査部、事務部などの協力により、病院全体で研修医を育てる体制を構築しています。

研修医の声



荻本 直亮さん

杏林大学病院は、多摩地区唯一の大学病院本院であり、高度救命センター、総合産科産後母子医療センター、脳卒中センターなど救急対応に強いところが特徴の一つです。その一方で、都心の大きな病院と異なり三鷹市の周辺地域には当院と同様の大きな病院がないため、Common diseaseも多く、市中病院のような一面も持ち合わせています。このように当院は専門性の高い症例から一般的な症例まで、多岐にわたる症例を経験できると魅力があります。私は杏林大学を卒業し、このような魅力を持つ当院で研修を行うことを決めました。まず、当院の研修プログラムではどのようなカリキュラムを組めるのかという点について説明いたします。私は一般コースを選択しましたが、一般コースでは、内科、救急、外科、産婦人科、小児科、精神科、麻酔科、地域研修以外の期間(28週間)で自由選択枠が設けられています。この期間で選択できる科目数の目安は6~7科であり、志望科を決

ていない方にとっても十分この期間で志望科を考えることができます。私は内科志望かつ専門科を決めていなかったため、それぞれの内科を選択しローテーションを経て、志望科を決めることができました。当院の雰囲気はとてアットホームで、疑問を抱いたときにすぐに上級医に質問できる良い環境の中で研修生活を送ることができます。研修同期も多いため私生活はもちろん、勉学面でも切磋琢磨できると思います。もう一つの魅力として、地域医療というプログラムがあります。この研修では、北は北海道から南は長崎五島列島まで指定された医療機関で1か月研修ができます。私は五島列島を選択しましたが、大学病院で働いているからこそその医療体制の違いや医療設備の違いを体験できます。大学病院での高い水準の医療だけでなく、限られた医療資源でどのような医療が展開されているのかを学ぶため非常に貴重な経験ができます。杏林大学病院は大学病院ではありませんが様々な疾患を経験でき、親しみやすい環境の中で研修生活を送ることができます。ぜひ一度、見学にお越しください。当院の雰囲気を感じていただければと思います。



吉崎 彩織さん

私は2019年3月に他大学を卒業し、4月より杏林大学医学部附属病院にて初期研修を開始しました。私が当院で初期研修をしたと思った大きな理由として、他大学出身の先生が多く在籍しており、出身大学の垣根を超えた寛容な雰囲気にも魅力を感じたことがあります。研修医の約3分の1が他大学出身であり、私立・国立を問わず、様々な地域から集まっています。入職後は2週間のオリエンテーションがあり、研修の流れ、パソコンの使い方、採血等の基本的な手技を学ぶ機会が設けられています。この期間に同期の研修医との交流を深めることもできます。病棟業務が始まってからも、いきなり一人で患者さんの診察やアセスメントを任せられるのではなく、上級医の先生方の指導のもと、基本的な要素から教えてもらうことができます。質問や意見があれば遠慮なく発言できる風通しの良い環境でもあります。

一方で、救急外来では研修医がファーストタッチを担当するため、速やかな加療が求められる現場での対応力を磨くことができます。また、後期研修先の病院や入局科を悩んだ際、親身になって相談に乗ってくれる先生方がたくさんいることも心強いです。将来設計や個性を考えたいうえで、時には別病院や別の科の可能性を提示してくださることも、大きな信頼を寄せられる理由となりました。一度見学に来ていただければ、当院の雰囲気を伝えてくださると思います。ぜひお気軽にいらしてください。



指導医の声



安藤 直朗さん(麻酔科)

当院は、多摩地区唯一の大学病院の本院です。地域の医療に根差しながら臨床、研究、教育という3本の柱、全てに置いて、大学病院としての役割を担う設備と人材が揃っていると思います。取り扱う疾患もCommon diseaseから専門的な珍しい疾患まで、慢性的な疾患から、急性期や重症病態まで、幅広く経験を積むことができます。規模の大きな大学病院ですが、他大学出身の方も多く、出身大学を気にすることなく、すぐに馴染めて和気藹々とし、風通しが良いのも、特徴だと思います。私の所属する麻酔科は、当院の研修プログラムでは必修科目になっています。しかし、麻酔科とはかけ離れた分野に進路を考えている研修医もいます。研修医の、考え方やそれまでの経験や知識はそれぞれ異なります。そこで私たちは、平等で均質な教育を目指すよりも、個々に合わせた教育や研修を心がけています。麻酔科の研修を始める際には、目標や目的、研修を経てなりたい自分をなるべく具体的にイメージしてもらい、

そのイメージに近づくためには、何が必要かを一緒に考えるところから始めています。また患者さんの安全を担保しながら、最大限の経験が積めるように、手技や治療へなるべく参加していただくべく、シミュレーターを用いた事前の準備や、定期的な勉強会を開催しています。担当する患者さんについて、積極的にチーム医療に参加して、研修医自身の考え方を尊重することに努めています。また労働が過重な負担がかからないよう、オンラインでの出退勤把握による管理や、指導医との定期的な面談もありません。幅広い学年の先生がいるので、悩んだときには、近い学年の先輩に相談しやすいのも魅力だと思います。私自身も当院で初期研修を行います。杏林大学病院の雰囲気は、その頃と少しも変わらず、面会日のいい指導医たちと活気があってやる気に溢れる研修医が、患者に寄り添う良医を目指して、日々教育と自己研鑽に励んでいます。むしろもっと、活気があってやる気に溢れる研修医が増えた気もしています。先輩が教えてくれたように、後輩に教えていく、この定着した風土はこれからも変わらないのだと思います。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

初期臨床研修

平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策をとりました。

1. 厚生労働省の定める到達目標の大幅改訂に合わせ、病院全体および各分野の到達目標を見直しました。
2. 外科、産婦人科、小児科、精神科が必修となりましたが、当院のプログラムは従来からこれらの分野を必修にしていたので、必修科目の変更はありません。
3. 外来研修の必修化にも対応しています。
4. 「平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策を取りました。」について全国共通の評価表とともに、これまで用いていた評価票をもとにした当院独自の評価票を併用し、より正確できめ細かな研修評価を行います。
5. 28週間の自由選択期間がありますので、将来の進路に適した分野を選んで研修することができます。

選べる2つのプログラム

研修プログラム

杏林大学 医学部附属病院 一般コース

制度の定める必修科目である「内科(内科外来研修含む28週間)」、「救急(12週間)」、「外科(4週間)」、「産婦人科(4週間)」、「小児科(4週間)」、「精神神経科(4週間)」、「地域医療(4週間)」の他に、「麻酔科(8週間)」を必修とし、「救急と全身管理に強い医師」の養成をめざしています。自由選択期間は28週間あり、プログラム責任者の助言のもとに、将来の進路を見据えた自分なりのプログラムを組むことができます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						麻酔科	外科	内科外来	選択		
2年次	救急	救急	産	精	小	地	選択					

救急：救急総合診療科(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



杏林大学 医学部附属病院 産婦人科・小児科重点コース

「産婦人科・小児科重点コース」も基本的なコンセプトは「一般コース」と同じですが、小児科あるいは産婦人科の研修期間を長くとり、この領域の研修が重点的に行えるようになっています。ただし、小児科または産婦人科以外に、将来の進路に役立つと思われる科を研修することも可能です。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	産	小	外科	麻酔科		内科外来	内科					
2年次	救急	救急	精	地	選択	選択：原則として小または産						

救急：救急総合診療科(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



一人一人の夢を実現するために、 万全の研修環境を提供します

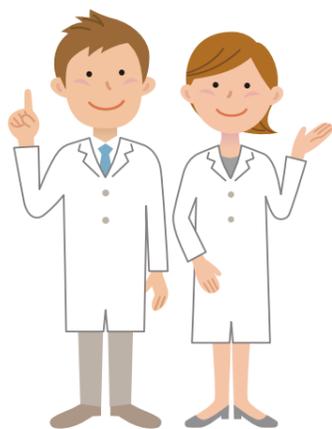
Training environment



KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

医療施設

特定機能病院、東京西部地域の一・二次、三次救急医療の基幹病院およびがん拠点病院としての使命を担っています。平成7年には、厚生労働大臣の認定する全国10ヶ所(当時)の高度救命救急センターの一つに認定され医療の質、その規模、内容ともに全国トップクラスの評価を受けています。



手術室



TCC(高度救命救急センター)



ICU

クリニカル・シミュレーション・ラボ

クリニカル・シミュレーション・ラボラトリー(略称CSL)では、医師、医学部・保健学部・医学部附属看護専門学校の学生や教員、看護師、メディカルスタッフなどが随時トレーニングを行うように、色々なシミュレーション器具を取り揃えています。

シミュレーター

蘇生(成人、小児)、心音、肺音、気道管理、中心静脈穿刺、腰椎穿刺、静脈注射、導尿、皮膚縫合、鏡視下手術、超音波装置、除細動装置、眼底・耳の診察、乳房触診、直腸診など

主な設備

- 総床面積 …………… 約114m²
- ホワイトボード …………… 1台
- スクリーン …………… 1台



シミュレーション研修風景



図書館

医学図書館は、学園の教職員・学生のための施設です。約3,000m²の館内に約9万1千冊の図書があります。電子ジャーナルや文献データベースを中心としたオンラインサービスにも力を入れています。電子ジャーナル約6万4千タイトルのほか、臨床支援データベースのUpToDate、The Cochrane Libraryを導入して、診療・研究・教育活動をサポートしています。平日は8時30分から22時30分、土日祝日は9時から22時30分に開館しています。リモートアクセスサービスに登録すると、自宅から文献検索データベースや電子ジャーナルを利用することができます。個人ポータルサイト「MyLibrary」をお使いいただくと、オンラインで資料の予約、文献取り寄せの申込などがあります。



大閲覧室



文献検索エリア



新着雑誌エリア

研修医室・研修医講義室



大学院講堂

講演会、学会、式典などに幅広く利用されています。席数:243席、車椅子席2台分



職員寮

(令和3年5月現在)

病院から徒歩10分圏内に、マンション形式の独身者用職員寮があります。(空き部屋がなく、入寮できない場合もあります。)

寮費/1か月

寮費50,000円・共益費3,000円・保険料136円

部屋の一例

占有面積約24m²/RC構造/3階建て/エアコン完備/バストイレ別/都市ガス/居間フローリング/室内洗濯機置き場有/CATV視聴可(武蔵野三鷹CTV)/駐輪場有/駐車場なし/オートロック/WiFi完備



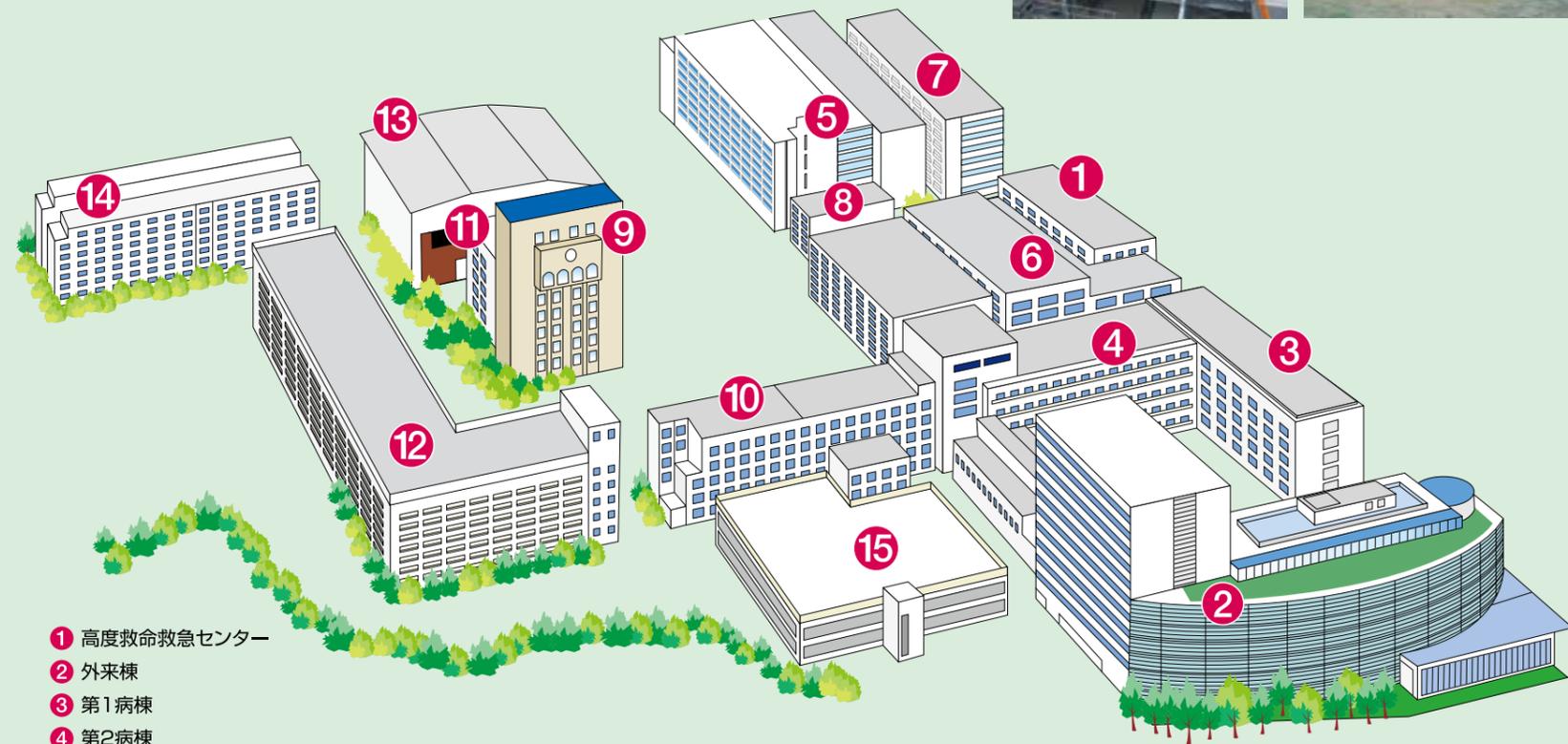
住みよい街、美しいキャンパスで 快適な研修生活を

Information on hospitals / Campuses and their surroundings

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL



外来棟正面



- 1 高度救命救急センター
- 2 外来棟
- 3 第1病棟
- 4 第2病棟
- 5 第3病棟
- 6 中央病棟
- 7 外科病棟
- 8 D棟(研修医棟)
- 9 医学資料情報センター(本部棟)
- 10 医学部講義棟
- 11 医学図書館
- 12 基礎医学研究棟・臨床医学研究棟
- 13 松田記念館
- 14 看護医学教育研究棟
- 15 病院駐車場

院内アメニティ施設のご案内



院内には、カフェや24時間営業のコンビニエンスストアなどのアメニティ施設があります。

病院・キャンパス周辺情報



三鷹駅



吉祥寺駅



杏林大学 井の頭キャンパス



井の頭公園



三鷹の森ジブリ美術館
©Mitsuda Mori Shibli.



- A 職員寮
- B スーパーマーケット
- C 家電量販店
- D スポーツ用品店
- E ホームセンター
- F 洋服店
- G ゴルフショップ
- H コンビニエンスストア
- I 飲食店
- J カラオケ
- K ドラッグストア
- L 月極駐車場

安定した身分と充実した研修プログラムにより、 さまざまな領域で活躍できる医師の育成を目指します

Professional training

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

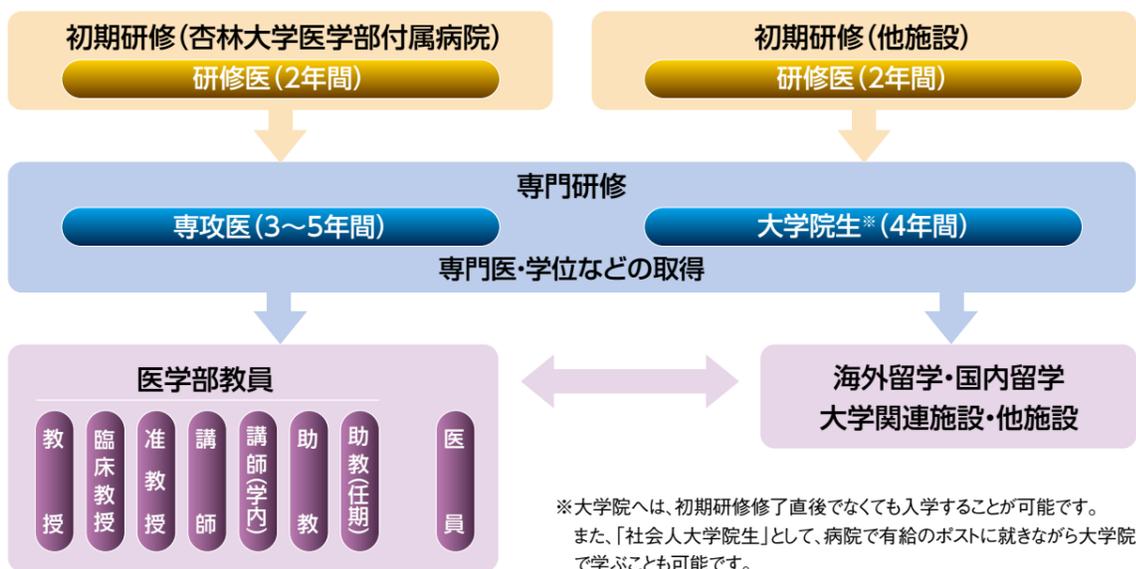
専門研修

個々のキャリア形成を親身になってサポートします。

平成30年度から開始された新専門医制度に則り、19の基本専門領域のすべてで「専門研修プログラム」を作成しました。専攻医の身分・処遇を明確にして経済的な不安がないようにしています。また、妊娠・出産、子育て、あるいは介護などでフルタイムの仕事ができない状況でも仕事を継続できるように支援しています。また、「社会人大学院」の制度があるので、研修医(2年目)あるいは専攻医として病院で勤務しながら、大学院の課程を修めることができます。専門医資格と学位(医学博士)の取得まで、責任を持って指導します。



杏林大学医学部附属病院の卒後教育の概要



杏林大学医学部附属病院の専門研修の理念と目的

大学内のみならず、医療界の様々な場面で活躍できる、次のような人材の育成をめざします。

- 1 高度の専門的な診療能力を持った医師
- 2 研究心、研究能力を持った医師
- 3 後進を適切に指導する能力を持った医師

この目的を達成するために、安定した身分と処遇、各科の専門研修プログラムに基づいた適切な研修環境を提供します。

取得できる専門医・指導医資格

新専門医制度におけるサブスペシャリティの専門資格については現在検討中ですが、参考のため旧制度において当院での専門研修により取得できた資格を示します。

下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医 外科周術期感染管理認定医 甲状腺外科専門医 呼吸器外科専門医 死体解剖資格 神経超音波検査士 心臓血管外科専門医 精神保健指定医 総合内科専門医 頭頸部癌専門医 内視鏡技術認定医 内分分泌科専門医 日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本医学放射線学会放射線科認定医・専門医 日本医学放射線学会放射線診断専門医・治療専門医 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医 日本化学療法学会抗がん剤化学療法指導医 日本カプセル内視鏡学会認定医 日本眼科学会専門医 日本感染症学会感染症専門医 日本肝臓病学会肝臓専門医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・教育医 日本緩和医療学会認定医・専門医 日本気管食道科学会気管食道科専門医 日本救急医学会専門医 日本区域麻酔学会認定医 日本形成外科学会専門医 日本外科学会外科専門医・指導医	日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医 日本血液学会専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本乳癌学会乳癌認定医・専門医 日本産科婦人科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本集中治療学会専門医 日本循環器学会専門医 日本消化器学会胃腸科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医 日本小児科学会専門医 日本小児外科学会専門医 日本小児麻酔専門医 日本食道学会食道科認定医 日本神経学会専門医 日本心臓血管麻酔専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本睡眠学会認定医 日本頭痛学会専門医 日本性機能学会専門医 日本整形外科学会整形外科専門医 日本精神神経学会精神科専門医 日本大腸肛門病学会専門医・指導医 日本胆道学会認定指導医 日本超音波医学会超音波専門医 日本てんかん学会認定医(臨床専門医) 日本透視医学会専門医	日本糖尿病学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内分泌学会専門医・指導医 日本乳癌学会乳癌認定医・専門医 日本認知症学会専門医 日本熱傷学会熱傷専門医 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会脳卒中専門医 日本泌尿器科学会泌尿器腫瘍技術認定医 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 日本病理学会病理専門医 日本ベングリニク学会専門医 日本ヘルコバクター学会認定医 日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医 日本脈管学会認定脈管専門医 日本輸血・細胞治療学会認定医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本リハビリテーション医学会専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本臨床神経生理学会認定医 日本レーザー医学会レーザー専門医 日本老年医学会老年病専門医 日本老年精神医学会専門医 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医 臨床遺伝専門医
--	--	---

他多数

※取得できることを保証するものではありません。

専攻医の声



大坪 翔さん

私は杏林大学を卒業後、当院で初期研修を行い2020年4月から当院産科婦人科学教室に入局しました。当院は大学病院として高度先進医療を提供する特定機能病院であり、また多摩地区の中核病院としての役割も担っており、commonな疾患から希少疾患が多く集まっています。なかでも当科は周産期、婦人科腫瘍、生殖医療の3領域に関してレベルの高い医療を提供しており、特に周産期に関しては都内に6つのみのスーパー総合周産期センターとして緊急で母体救命処置が必要な妊産婦の診療にあたっており、また婦人科に関しては子宮頸癌・体癌や卵巣癌などの悪性腫瘍や子宮筋腫・骨盤臓器脱などの良性疾患の診療に多くあたっています。

自分は学生時代の臨床実習で出産を見て産婦人科に興味を持ち、また初期研修で診療の幅広さを感じ、産婦人科への入局を決意しました。当科後期研修は産科・婦人科を交互にローテートします。産科ローテートは分娩の立ち合い、帝王切開などの産科手術にあたり、また病棟のハイリスク妊産婦管理を行います。また婦人科ローテートでは子宮筋腫・卵巣嚢腫などの良性疾患をはじめ、子宮頸癌や卵巣癌などの悪性疾患などの手術にあたり、また担癌患者の化学療法や病棟管理を主に行います。診療にあたる中で、上級医の懇切丁寧な指導や豊富な症例は必要な知識や手技の習得にとっても重要であると日々実感し、当院はそれを実現できる絶好の場所だと感じています。また学問などなくアットホームな環境で安心して研修に打ち込むことが出来ると感じています。是非一度見学にいらして頂き、実際に雰囲気を感じ取っていただければと思います。



望月 もえぎさん

私は他大学卒業後、2018年4月から杏林大学附属病院での初期研修を行いました。そして2020年4月より同病院の消化器内科に入局し、内科専攻医として勤務しています。後期研修の場所として出身大学の雰囲気の良いことや丁寧な指導医の先生方、メディカルスタッフとの良好な関係のほか、多摩地区を担うだけあって昼夜問わず、多様な軽症～重症までの幅広い症例が経験できるからです。多摩地区を担う当院の1.2次救急は専攻医でも経験することができ、大学病院ならではの希少疾患や専門性の高い疾患だ

けなくcommon diseasesの対応もできるようになります。消化器内科に入局はしましたが実際に1.2次救急で、消化器疾患以外の急性期対応や緊急性の高い症例など多くの経験が出来、この1年で成長できていると感じております。また、当院では学問がなくアットホームな雰囲気も魅力で、どの科でも上の先生に質問しやすい雰囲気や疑問に思ったことはすぐにその場で解決することができ、手技も積極的に学ばせてもらえます。研修医の時も実際に各科をローテーションさせて頂いて、医局の雰囲気の良いことや同期、上下の関係の良さに驚いたのを覚えています。少しでも気になっていたいただければ気軽に見学に来ていただいで、実際に雰囲気の良さに触れてみてください。

指導医の声



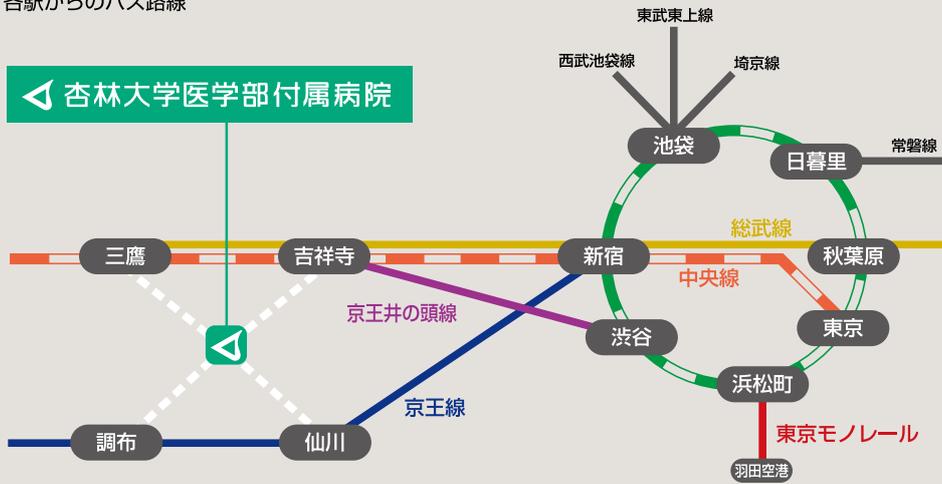
櫻庭 彰人さん(消化器内科)

後期研修をどこでするか悩みますよね。病院の規模・設備や専門医数は、大病院や基幹病院になるとほとんど変わりません。病院の特徴を決めるのは、受診される患者さんや病院の置かれている環境であつたりします。当院は多摩地区と呼ばれる東京郊外にある唯一の大学病院本院です。直接受診される患者さんだけでなく、近隣のみならず遠くの医療機関から紹介転院される方も多いため、広い多摩地区の最後の砦です。そのせいか患者さんとの距離感が近く、診療のモチベーションが上がります。診療のスキル向上にはやはり経験が大切です。日常的な疾患だけではなく希少な疾患も決して珍しくないのは、広い診療

圏ならではの思い。珍しいと言われる疾患をしばしば経験できるのは向学心を上げてくれます。後期研修医になると、各診療科の指導医のもと専門性を極めていきます。ですが患者さんためには他科の先生の力も必要です。そんな時でも垣根がない雰囲気なので、ストレスを感じることはありません。女性の産休育休は当たり前ですが、男性の育休に対しては前向きです。残念ながら直接見学できる機会がなくニュースアンスをお伝えするのが難しいですが、仕事のしやすい環境はおすすめて。医師の仕事は楽ではありませんが、楽しい環境であれば一層やりがいを感じることが出来ます。そしてそれが一番患者さんのためになります。一緒に良い医療を提供しましょう! 仲間募集です!

----- 各駅からのバス路線

杏林大学医学部付属病院



■ JR中央線 三鷹駅南口<約20分>

- のりば7 仙川行、晃華学園東行、新川団地中央行→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば8 野ヶ谷行→「杏林大学病院入口」バス停下車

■ JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口<約20分>

- のりば6 野ヶ谷行、深大寺行→「杏林大学病院入口」バス停下車
- のりば6 調布駅北口行(杏林経由)→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば7 仙川行、新川団地行、杏林大学病院前行→「杏林大学病院前」バス停下車

■ 京王線 仙川駅<約15分>

- のりば1 吉祥寺駅中央口行、三鷹駅行→「杏林大学病院前」バス停下車
- ※バス停は商店街を抜け、甲州街道を渡ったところにあります。

■ 京王線 調布駅北口<約24分>

- のりば13 吉祥寺行(杏林経由)→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば14 杏林大学病院行→「杏林大学病院」バス停下車

臨床研修のご案内は下記へお問い合わせ下さい。

TEL:0422-47-5511(代)

k-match@ksot.kyorin-u.ac.jp

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部付属病院 総合研修センター